



Seminar  
No. 3

模型実習付き

# Tiハニカムメンブレンを用いた前歯部・臼歯部におけるGBR法



**石川 知弘 先生**  
石川歯科浜松ペリオ・  
インプラントセンター

広島大学歯学部卒業  
静岡県浜松市にて開業  
日本臨床歯周病学会指導医  
5-DJapanフアウンダー  
OJ会員  
静岡県口腔インプラント研究会会長  
EAEDアフィリエイトメンバー



**小川 雄大 先生**

東京歯科大学 卒業  
慶應義塾大学病院 歯科・口腔外科  
浜松ペリオ・インプラントセンター 現勤務  
静岡県 小川歯科医院 理事  
日本歯周病学会 認定医  
日本口腔外科学会 認定医  
日本口腔インプラント学会  
THREEE 主宰

インプラント治療において審美的で機能的な結果を得るためには、補綴的に理想的なポジションにインプラントを埋入することが不可欠である。現実的には様々な理由で骨量が不足し、骨造成が必要となるケースが多い。さらに前歯部における3次元的な骨造成が求められる審美インプラント治療や臼歯部の比較的大きな垂直および水平性骨欠損に対し骨造成を行う際には、非吸収性メンブレンの使用が必須となる。Tiハニカムメンブレンは厚さ20 $\mu$ mのチタン性膜であり、しなやかで操作性が良く、術者が意図した形態に三次元的に調整し、顎堤に精密に適合させることが可能である。他の非吸収性バリアよりも優れた特長を持っていると考えられる。今回のセミナーは

- 審美エリアにおけるSPIインプラント埋入ポジション(実習①・講義)
- 前歯部3次元的なGBR(実習②・講義)
- 臼歯部の水平・垂直性骨欠損に対するGBR(実習③・講義)
- 術中のフラップマネージメント、減張切開、縫合時のコンセプト(実習②、③・講義)
- 骨造成後の軟組織マネージメントの必要性(講義)

以上を基礎的な内容から実際の手術動画を用いた実践的な内容までの講義と顎模型を用いた実習によって知識と技術を習得し、骨量の不足した部位においても積極的にインプラント治療を行える技術を身に付けることを目標とする。

**開催日** 2025年6月29日(日) 10:00~17:00

2026年2月1日(日) 10:00~17:00

**会場** 2025年6月29日／御茶ノ水トライエッジカンファレンス  
2026年2月1日／Dental Plaza Tokyo

**対象** 歯科医師

**定員** 各回12名 ※定員になり次第締め切ります。  
※セミナーは開催定員に達しない場合は中止する場合がございますので予めご了承ください。

**参加費** モリタ友の会有料会員(本人)..... 77,000円(税込)  
スタッフ(院長が一般会員)..... 80,300円(税込)  
未入会 または 無料会員 ..... 91,300円(税込)

※参加費には昼食代を含みます。